

(書式 1-1-6)

相続債務について言及する場合の標準遺産分割協議書

遺産分割協議書

被相続人〇〇〇〇(昭和〇〇年〇〇月〇〇日生、平成〇〇年〇〇月〇〇日死亡、
本籍〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地、最後の住所〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
丁目〇〇番〇〇号)の遺産について、共同相続人妻〇〇〇〇、同長男〇〇〇〇及
び同二男〇〇〇〇は、全員による協議の結果、次のとおり遺産を分割し、取得す
ることを合意した。

1 妻〇〇〇〇は、次の遺産を取得する。

所在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目
地番 〇〇番
地目 宅地
地積 〇〇〇・〇〇平方メートル

所在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
家屋番号 〇〇番
種類 居宅
構造 木造瓦葺2階建
床面積 1階 〇〇・〇〇平方メートル
2階 〇〇・〇〇平方メートル

但し、前記建物の住宅ローンの返済を負担する。

第3項以外の預貯金の全て

2 長男〇〇〇〇は、次の遺産を取得する。

所 在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目
地 番 〇〇番
地 目 宅地
地 積 〇〇〇・〇〇平方メートル

所 在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
家屋番号 〇〇番

種 類 居宅兼店舗
構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根 3階建
床面積 1階 〇〇・〇〇平方メートル
2階 〇〇・〇〇平方メートル
3階 〇〇〇・〇〇平方メートル

但し、前記建物の賃借人に対する保証金返還債務を負担する。

3 二男〇〇〇〇は、次の遺産を取得する。

〇〇銀行〇〇支店の定期預金 額面金〇, 〇〇〇万円

4 長男〇〇〇〇は、第1項及び第2項の債務以外の一切の債務を負担する。

以上のとおり、協議が真正に成立したことを証するため、この協議書を3通作成して署名押印し、各自1通を保有する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
〇 〇 〇 〇 印

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
〇 〇 〇 〇 印



解説

金銭債務その他の可分債務は、各相続人が相続分に応じて分割承継する。
この分担を変更するには、債権者の承諾が必要であり、承諾がない限り、変更の協議は、内部的に相続人相互を拘束するに過ぎない。

